

(仮称) 森の都推進部の取組について

1. 組織改編概要

改編時期: 令和5年(2023年)4月

移管事務: ①緑地の保全、緑化の推進

【環境局 環境共生課】

②観光公園管理、スポーツ公園の高木管理

【経済観光局 観光政策課、スポーツ振興課】

③森づくり、公有林の管理等

【農水局 森づくり推進室】

④街路樹管理、公園の整備管理、土木センター調整

【都市建設局 道路保全課、公園課】

⑤学校の高木管理、緑化コンクール

【教育委員会事務局 学校施設課、指導課】

※R4・4定 事務分掌条例改正済(都市建設局内に(仮称)森の都推進部を設置)

2. 改編後の各課の業務分担(1部3課体制)

みどり政策課 (計画・予算)	みどり公園課 (整備・管理)	花とみどり協働課 (市民企業協働)
・総合的な企画及び調整 ・予算の総括 ・緑に関する計画策定、進捗管理 ・緑化協議、緑化指導 ・花とみどりに関する広報 ・基金管理	・街路樹、公園の維持管理の総括 ・緑の基本計画アクション PG 事業 ・森林の経営管理、分収林、私有林、市有林の整備管理事業 ・学校及びスポーツ施設、観光公園の高木管理	・NEO GREEN PROJECT ・花苗配布、記念樹配布 ・くまもと花博レガシーイベント ・緑育、花育、森林環境教育 ・学校緑化コンクール ・公園愛護会等の活動支援

3. 総合的・戦略的な取組内容(R5年度)

	取組項目	内容	現関連部署
1	緑の基本計画 アクションプログラム	市民・企業との協働による花と緑溢れるまちづくり事業を面的に展開する。 ※別添:今年度策定3エリア(中心市街地・上熊本・立田山)	※緑関連 全て
2	「学校の森」再生事業	樹木の過密化・大径木化の課題を抱える学校を対象に「学校の森」再生事業を通じ、子ども達の緑に関する学びを深める。	教育委員会
3	街路樹・公園に関する 複数年契約等の導入	3か年かけて樹形・樹冠を整え、森の都に相応しい並木づくりを行う。(R5年度～第2空港線および電車通り)	道路保全課 公園課
4	くまもと花博継続事業 (くまもとの魅力再発掘)	各区資源の魅力(自然、生き物、遊び、食等)を活かした取組を展開する。 ※R5:金峰山、R6:雁回山	森づくり推進室 環境共生課 観光政策課
5	公共施設の 樹木剪定ガイドライン	樹種ごとの目標管理樹形に応じた剪定手法等を設定し、統一的管理を行う。	※市有施設

令和5年度 森の都推進部の取組

①未来へ紡ぐ花緑リレープロジェクト(46,830千円)

(1)花苗配布・花リレープロジェクト **拡充**

- 自治会配布率UP
- 学校、公共施設への**新規配布**
花リレープロジェクト(プラグ苗)
- 緑のマイスターによる
花苗植え付け講座実施

(2)緑の基本計画アクションPG(事業展開) **新規**

●事業展開エリア (3エリア)

- ・中心市街地(おもてなし花壇等)
- ・上熊本(駅周りの花緑スポット等)
- ・立田山(タケノコ堀体験・自然観察会等)

(3)緑の基本計画アクションPG(計画策定) **継続**

●新規策定エリア (7エリア)

(4)花と緑学びプロジェクト **拡充**

- ①学校の森の再生事業
- ②花と緑の学び事業(花き農家見学など)

(5)金峰山一帯魅力向上プロジェクト **新規**

農水局(公有林・みちくさ館)、観光局(観光公園)
→「遊・楽・学・食」をテーマとした
自然体験型コンテンツの創出



②NEO GREEN PROJECT(19,000千円)

- 市民・企業・関連団体との協働による花と緑プロジェクト **継続**
市民:地域緑化花壇、オープンガーデン、ボランティア、緑のマイスター
企業:スポンサー花壇
関連団体:県内44市町村との連携による魅力発信(SNS活用)



③風格ある街なみ形成事業(街路樹・公園)(413,000千円↑)

(1)複数年管理の導入 **拡充**

対象路線:第2空港線・電車通り

- 【1】樹形の回復
- 【2】適切時期剪定(計画性)
- 【3】統一樹形形成
- 【4】受託者責任感UP

3ヶ年複数年契約



(2)雑草対策の強化

- 植樹帯の土壌入替
- 縁石の隙間防草対策
- 低木樹種防草試験など

(3)重点路線除草回数強化

3回/年 ⇒ **4回/年**

(4)公園除草回数強化

3回/年 ⇒ **4回/年**
※草の繁茂の著しい公園を対象

④くまもと花博2023秋(88,900千円)

3エリアでの開催 <新規発掘:金峰山> **拡充**
開催日時:2023年10月下旬~11月下旬



既存事業での新たな取組

公園

- ✓公園施設長寿命化事業
老朽化遊具の改修など
- ✓水前寺江津湖公園利活用保全事業
(R4:スタンプラリー※ R5:寄付ベンチ等)
※市長とドンドン語ろう!江津湖版⇒出水南中 生徒提案

☆R5年度新規取組

- ①ストック再編事業(方向性)
- ②DX導入検討
- ③除草の効果検証

街路樹

- ✓街路樹の剪定・除草管理
- ✓街路樹再生計画による伐採
- ✓危険樹木の伐採

☆R5年度新規取組

- ①複数年契約導入による効果検証
- ②除草根対策の試行事業
- ③街路樹剪定ガイドライン作成
- ④伐採樹木の活用

緑化推進・緑地保全

- ✓緑化推進事業(生垣補助等)
- ✓市電緑のじゅうたん事業
- ✓緑のマイスター活用検討

☆R5年度新規取組

- ①緑化助成制度のスキーム見直し
- ②既存緑地の保全手法の検討

森づくり

- ✓森林経営管理推進事業
(R4:雁回山 R5:金峰山※調査着手)
- ✓公有林管理事業
(R4:雁回山歩道整備 R5:雁回山展望台整備)
- ✓森づくり推進事業
(R4:立田山木育 R5:金峰山木育)

☆R5年度新規取組

- ①金峰山の森林所有者意向調査着手
- ②公有林(雁回山)の整備活用

学校事業・観光・スポーツ公園

- ✓学校樹木の維持管理
(管理本数約15,000本)※街路樹同数
- ✓学校緑化コンクール
- ✓観光公園・スポーツ公園の高木維持管理

☆R5年度新規取組

- ①学校の森プロジェクト(適正化)
- ②緑の先生派遣講座
- ③公共施設樹木剪定ガイドライン

熊本市では、「森の都」にふさわしい緑豊かなまちづくりを進めていくため、令和3年（2021年）3月に「緑の基本計画」を改定しました。

この計画の実効性を高めるためのアクションプログラム（行動計画）を策定し、日々の暮らしの中で花と緑を実感でき、それを誇りに思えるような「森の都くまもと」を実現していきます。

熊本市緑の基本計画 令和3年（2021年）3月

基本理念

持続可能な「森の都」の実現

基本方針

守る

豊かな自然の 保全・共生

- ①自然環境の基盤である森林や河川等の保全
- ②身近な自然環境の保全
- ③地球環境や生物多様性に配慮した自然環境の保全



育む

緑あふれる都市づくりに 向けた緑の創出

- ①効果的な公共施設等の緑の創出
- ②多様な主体との協働による民有地の緑の創出
- ③中心市街地において本市の顔となる緑の創出



活かす

様々な機能を持つ 緑の活用

- ①森林等の緑の機能の活用
- ②都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用
- ③特色を生かした緑地の活用



繋げる

緑を支える人づくり・ 組織づくり

- ①緑に親しみ学ぶことによる市民の緑化意識の高揚
- ②市民・事業者・行政の協働による緑化活動の展開の促進
- ③緑化推進のための組織運営の強化



具現化

アクションプログラムの特徴

- 特徴1 5年で変化を感じられる事業を展開
- 特徴2 熊本らしい、エリアの特色に応じた事業を展開
- 特徴3 さまざまなフィールドを活かした事業展開（街路樹、公園、学校、森林など）

「スピード」
&
「実現性」

「一貫性」
&
「統一感」

フィールドの
フル活用



中心市街地エリアで実施する活動に対して
企業や団体の皆様からのご支援をいただいております

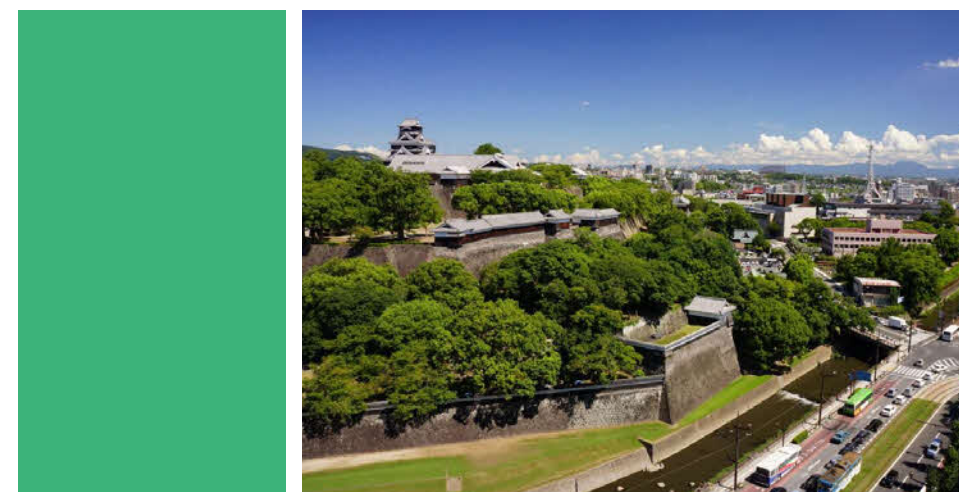
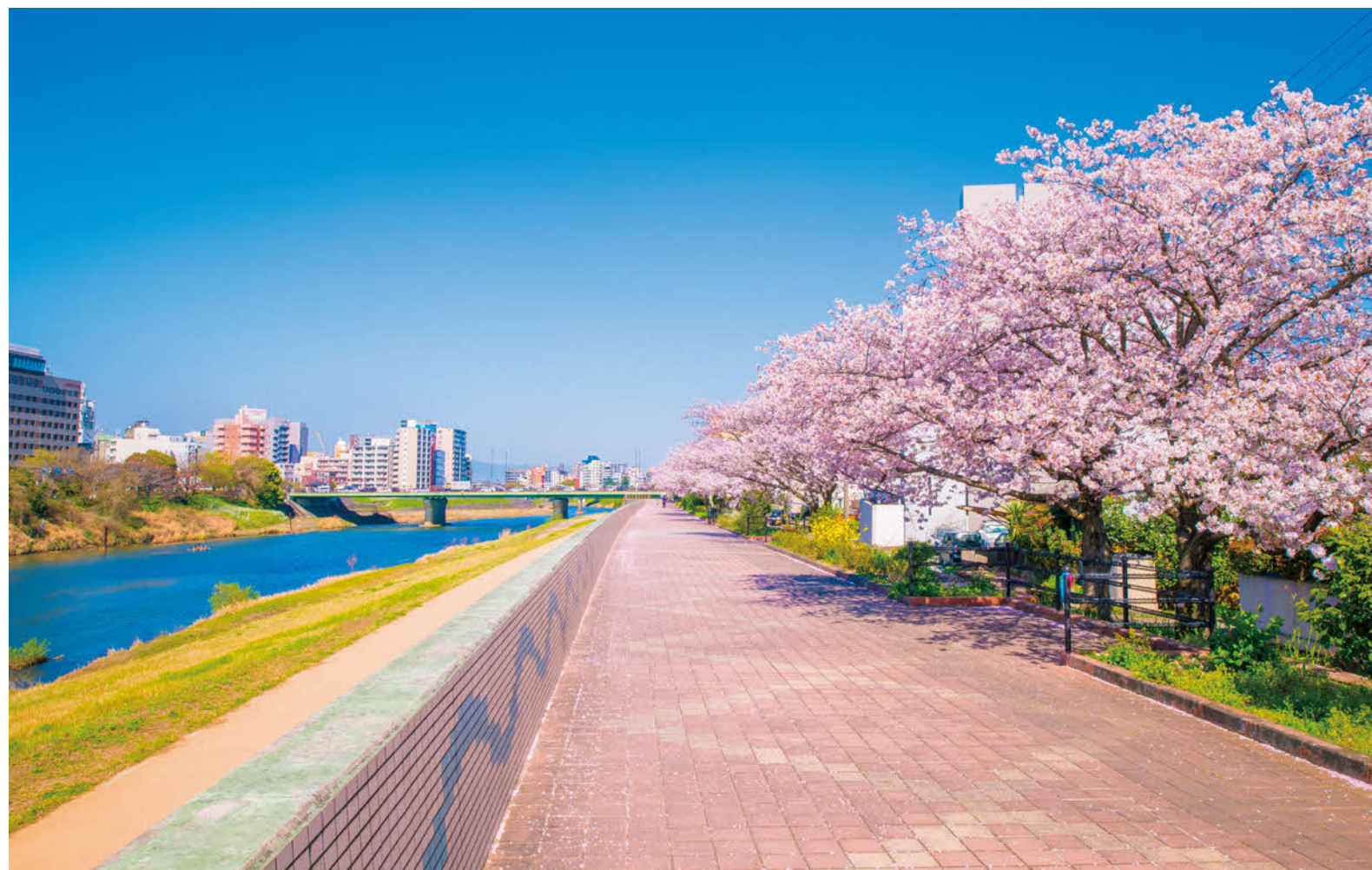
明治安田生命

●市役所前バス停花装飾
明治安田生命保険相互会社 様

活動へのご支援・ご参加いただける企業や団体の皆様を募集しております

アクションプログラムへの参画・協賛に関するお問い合わせ

森の都推進部 みどり公園課 ☎096-328-2409(熊本市役所7階)



熊本市緑の基本計画 アクションプログラム



中心市街地エリア

Vol.1 (R5.3月)



森の都、 未来へ。

地域の方々との協働による
緑豊かなまちづくりを紹介

（案）

熊本市では、「森の都」にふさわしい緑豊かなまちづくりを進めていくため、令和3年（2021年）3月に「緑の基本計画」を改定しました。

この計画の実効性を高めるためのアクションプログラム（行動計画）を策定し、日々の暮らしの中で花と緑を実感でき、それを誇りに思えるような「森の都くまもと」を実現していきます。

熊本市緑の基本計画 令和3年（2021年）3月

基本理念

持続可能な「森の都」の実現

基本方針

守る

豊かな自然の 保全・共生

- ①自然環境の基盤である森林や河川等の保全
- ②身近な自然環境の保全
- ③地球環境や生物多様性に配慮した自然環境の保全



育む

緑あふれる都市づくりに 向けた緑の創出

- ①効果的な公共施設等の緑の創出
- ②多様な主体との協働による民有地の緑の創出
- ③中心市街地において本市の顔となる緑の創出



活かす

様々な機能を持つ 緑の活用

- ①森林等の緑の機能の活用
- ②都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用
- ③特色を生かした緑地の活用



繋げる

緑を支える人づくり・ 組織づくり

- ①緑に親しみ学ぶことによる市民の緑化意識の高揚
- ②市民・事業者・行政の協働による緑化活動の展開の促進
- ③緑化推進のための組織運営の強化



具現化

アクションプログラムの特徴

特徴1 5年で変化を感じられる事業を展開

特徴2 熊本らしい、エリアの特色に応じた事業を展開

特徴3 さまざまなフィールドを活かした事業展開（街路樹、公園、学校、森林など）

「スピード」
&
「実現性」

「一貫性」
&
「統一感」

フィールドの
フル活用



上熊本エリアで実施する活動に対して
企業や団体の皆様からのご支援をいただいております



●上熊本駅東口
株式会社レイメイ藤井 様
SOCIALSQUARE 上熊本店 様



●花園五丁目公園
熊本製粉株式会社 様



JR九州サービスサポート株式会社



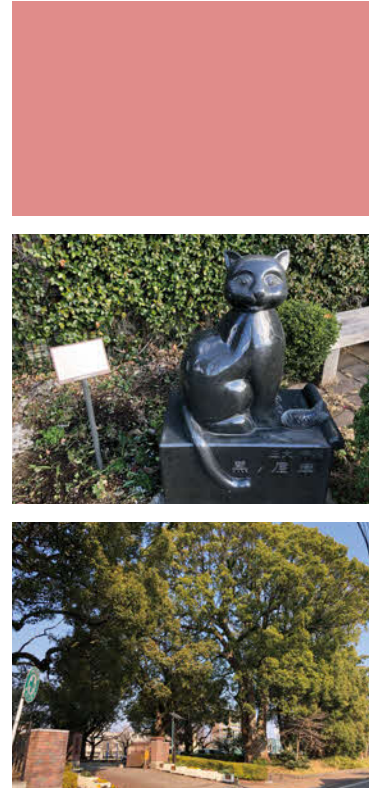
JR九州ビルマネジメント株式会社

●上熊本駅東口ロータリー
九州サービスサポート株式会社 様
JR九州ビルマネジメント株式会社 様

活動へのご支援・ご参加いただける企業や団体の皆様を募集しております

アクションプログラムへの参画・協賛に関するお問い合わせ

森の都推進部 みどり公園課 ☎096-328-2409(熊本市役所7階)



(案)



熊本市緑の基本計画 アクションプログラム

上熊本エリア

Vol.1 (R5.3月)



森の都、 未来へ。

地域の方々との協働による
緑豊かなまちづくりを紹介

地域力を活かした 森の都を感じる空間づくり

夏目漱石が現在の上熊本駅（池田駅）に降り立ち、森の都と表現したと言われています。
上熊本駅周辺を中心に、森の都を感じられるように花や緑を増やす取組を、地域・学校・企業などが協働して実施していきます。



季節の花の種配布(4箇所★) 漱石記念緑道巡り(4箇所★)



事業名

緑陰づくり(樹木新植)

基本方針:②育む 事業:R5～



目的 上熊本駅まわりの緑陰づくり

内容 樹木の植替え、未利用植樹帯への新植

場所 上熊本駅東口、西口

分担 植付・管理(行政)

事業名

漱石記念緑道整備

基本方針:①守る③活かす 事業:R6～



目的 歴史資源の活用、身近な緑の再発見

内容 舗装工事、ベンチ更新、剪定、周辺マップ看板設置

場所 漱石記念緑道(京陵中学校前)

分担 活用・清掃(京陵中、自治会)、整備・管理(行政)

事業名

漱石記念緑道巡り

基本方針:①守る③活かす④繋げる 事業:R5～

目的 森の都由来PR、地域の歴史・文化資源活用

内容 熊本健康アプリを用いた漱石緑道、漱石像、吾輩通りを巡るスタンプラリー実施



分担 コース選定(総合ビジネス専門学校)、アプリへの登録・広報(行政)

事業名

季節の花の種配布

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



目的 園芸を始めるきっかけづくり、花育推進

内容 地域のコミュニティセンターに季節の花の種配布コーナーを設置

場所 花園地域コミュニティセンター 池田地域コミュニティセンター
壺川地域コミュニティセンター 花園まちづくりセンター

分担 種選び(緑のマイスター)、種提供(行政)

事業名

学校花壇づくり(花園小学校)

基本方針:②育む④繋げる 事業:R7～



目的 創立150周年に向けた、花あふれるエントランスづくり

内容 樹木剪定、地域花壇整備
※R10年の創立150周年に向けて順次整備

分担 整備(行政)、植付・管理(花園小/自治会)、花苗提供(行政)

事業名

学校花壇づくり(池田小学校)

基本方針:②育む④繋げる 事業:R6～

目的 新たな花・緑スペースを活かした花壇づくり

内容 体育館改築後に、花壇等のスペースを整備

体育館・プール

■構造
鉄筋コンクリート造 3階建て
■平面計画
1F:アリーナ、便所、更衣室
2F: 点検用通路、機械室
3F: プール、便所、更衣室



分担 花壇整備(行政)、植付(池田小/自治会)
管理(池田小)、花苗提供(行政)

事業名

地域花壇づくり

目的 地域住民、企業、学校の協力による花・緑あふれる地域づくり

駅東口交差点

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



内容 既存ポケットパークプランターのリニューアル
未利用植栽帯への樹木新植後の周囲花壇化

分担 プランター購入・花壇整備(行政)、花苗提供(企業協賛)
植付・管理(自治会/看護専門学校/レイメイ藤井/
SOSIAL SQUARE)

花園高架下まちの広場

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



内容 まちの広場へのプランター設置

分担 プランター購入(行政)、
植付・管理(自治会)
花苗提供(行政)

井芹中学校アプローチ

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



内容 井芹中学校アプローチへプランター設置

分担 プランター購入(行政)、
植付(井芹中/地域ボランティア/総合ビジネス専門学校)
管理(井芹中)、花苗(行政)

駅東口ロータリー

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



内容 既存植栽帯の花壇化
自動灌水装置設置による維持管理の軽減

分担 花壇化・自動灌水装置設置(行政)、花苗提供(行政)
植付・管理(崇城大学フラワーカンパニーズ同好会/
上熊本駅/JRえきマチ)

花園五丁目公園と保育園

基本方針:②育む④繋げる 事業:R5～



内容 公園を利用する老人会と保育園児による協働

分担 花園五丁目公園花壇整備、樹木剪定
公園向かいの保育園プランター更新
花壇化・プランター更新(行政)
植付・管理(愛護会/保育園)、花苗提供(熊本製粉)

熊本市では、「森の都」にふさわしい緑豊かなまちづくりを進めていくため、令和3年（2021年）3月に「緑の基本計画」を改定しました。

この計画の実効性を高めるためのアクションプログラム（行動計画）を策定し、日々の暮らしの中で花と緑を実感でき、それを誇りに思えるような「森の都くまもと」を実現していきます。

熊本市緑の基本計画 令和3年（2021年）3月

基本理念

持続可能な「森の都」の実現

基本方針

守る

豊かな自然の 保全・共生

- ①自然環境の基盤である森林や河川等の保全
- ②身近な自然環境の保全
- ③地球環境や生物多様性に配慮した自然環境の保全



育む

緑あふれる都市づくり に向けた緑の創出

- ①効果的な公共施設等の緑の創出
- ②多様な主体との協働による民有地の緑の創出
- ③中心市街地において本市の顔となる緑の創出



活かす

様々な機能を持つ 緑の活用

- ①森林等の緑の機能の活用
- ②都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用
- ③特色を生かした緑地の活用



繋げる

緑を支える人づくり・ 組織づくり

- ①緑に親しみ学ぶことによる市民の緑化意識の高揚
- ②市民・事業者・行政の協働による緑化活動の展開の促進
- ③緑化推進のための組織運営の強化



具現化

アクションプログラムの特徴

- 特徴1 5年で変化を感じられる事業を展開
- 特徴2 熊本らしい、エリアの特色に応じた事業を展開
- 特徴3 さまざまなフィールドを活かした事業展開（街路樹、公園、学校、森林など）

「スピード」
&
「実現性」

「一貫性」
&
「統一感」

フィールドの
フル活用



立田山エリアで実施する活動に対して
企業や団体の皆様からのご支援をいただいております



熊本県森林組合連合会

●熊本県森林組合連合会 様

活動へのご支援・ご参加いただける企業や団体の皆様を募集しております

アクションプログラムへの参画・協賛に関するお問い合わせ

森の都推進部 みどり公園課 ☎096-328-2409（熊本市役所7階）



熊本市緑の基本計画 アクションプログラム



立田山エリア

Vol.1（R5.3月）



森の都、 未来へ。

地域の方々との協働による
緑豊かなまちづくりを紹介

（案）

森林竹林の適正管理と フィールドの有効活用



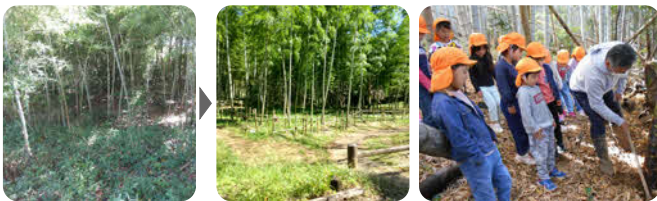
街なかにほど近い、自然環境が豊かな立田山。令和4年（2022年）に開催された『くまもと花博』では、メイン会場の一つになり、来場いただいた多くの方に自然豊かな立田山を知っていただきました。そのレガシーを受け継ぎ、森林等の継続的な維持管理をはじめ、資源および自然を活かした体験プログラムを行っています。



事業名

タケノコ掘体験

基本方針:①守る③活かす 時期:R5~



目的 土砂災害、倒竹災害の防止
山での収穫体験
イノシシ棲息拠点の減少

内容 竹林管理の必要性・竹林整備および管理の手法の講習
市民参加によるタケノコ掘体験

場所 立田山憩の森内の竹林
(五高の森付近⇒竹林整備に合わせ、実施エリアを順次拡大)

分担 講師(熊本県森林インストラクター協会)
参加者募集(行政) 鉤・手鋸等、収穫資材(森林組合)

事業名

自然観察会

基本方針:①守る 時期:R5~



目的 自然環境の保全意識の向上
生態系のモニタリング

内容 野鳥や昆虫、植物等の観察(季節ごとに移り変わる動植物の観察)
学校行事等への自然観察講師の派遣

場所 立田山お祭り広場、五高の森 等

分担 実施内容の企画・運営(各団体)
参加者募集(各団体、市HP等) ※各団体の活動情報広報の協力
自然観察講師の紹介(行政)

実施団体 立田山自然探検隊
日本野鳥の会熊本県支部
熊本県森林インストラクター協会
熊本県シェアリングネイチャー協会

事業名

竹チップ防草対策

基本方針:②育む③活かす 時期:R5~



目的 植栽帯の防草材としての活用
輻射熱の軽減等による都市環境の改善
生態系の連続性確保(エコロジカルネットワーク)

内容 間伐竹材を粉砕・チップ化
道路植栽帯や公園内園路等の雑草対策

場所 北市区道沿い植栽帯 ※試験実施
⇒順次実施箇所を拡大

分担 竹林間伐・チップ化(行政)

事業名

竹細工づくり体験

基本方針:①守る③活かす 時期:R5~



目的 土砂災害、倒竹災害の防止・竹林整備等に関する知識の普及
ものづくり体験を通じた森林環境教育
イノシシ棲息拠点の減少

内容 竹林管理の必要性等の講習
竹細工づくり体験の実施

場所 立田山周辺小学校等
お祭り広場、多目的広場

分担 講師(老人会・エコ村伝承館・(一社)くまもと工芸協会)
材料提供(行政)

事業名

間伐材モビリティプランター

基本方針:②育む③活かす 時期:R6~



目的 間伐材の有効活用
緑を感じられるまちなみ景観の形成

内容 立田山の間伐材を活かしたプランターの設置

場所 中心市街地等

分担 樹木間伐(行政)
製材加工・組立(行政)

事業名

森の音楽会

基本方針:③活かす 時期:R5~



目的 森の中での癒しを体感
子供たちの練習の成果披露

内容 プロの演奏家や子供たちによる森の中での音楽会の開催

場所 立田山お祭り広場木製ステージ

分担 出演依頼・機材運搬・音響設備設置(民間)
演奏会出演
(立田山周辺幼稚園・小学校等)

事業名

ヤギ除草

基本方針:①守る③活かす 時期:R6~



目的 除草作業に係る維持管理の新たな取組み

内容 放牧エリア・期間を限定した、
ヤギによる除草

場所 立田山多目的広場

分担 柵・小屋等飼育設備設置(行政)
ヤギ賃借・飼育管理(行政)

事業名

間伐体験

基本方針:①守る④繋げる 時期:R6~



目的 森林管理の必要性に関する意識啓発

内容 森林が持つ役割や、適切な管理の必要性の学習
市民参加による伐木体験

分担 講師手配(行政)

参加者募集(行政)

作業資材(森林組合)

事業名

健康アプリを活用したウォークラリー

基本方針:④繋げる 時期:R5~



目的 健康増進
立田山の魅力発見

内容 熊本健康ポイント事業のアプリ
「もっと健康!げんき!アップくまもと」内の機能を使用し、
立田山エリアの散策コースを設定

場所 立田山憩の森観察コース

分担 コース設定・アプリへの登録・広報(行政)

事業名

木製遊具の設置

基本方針:③活かす 時期:R5~



目的 子供たちが遊びながら、
立田山を散策できるコースづくり

内容 老朽化のため撤去した
遊歩道沿いの遊具を一部再設置

分担 遊具設置(行政)

事業名

自動販売機設置

基本方針:①守る④繋げる 時期:R5~



目的 遊歩道散策利用者の水分補給
収益の維持管理費への還元

内容 自動販売機の新規設置

場所 立田山お祭り広場トイレ横

分担 自動販売機設置(行政)
電気設備改修、電気代支払い(行政)

事業名

自然環境保全啓発・健康増進イベント

基本方針:①守る④繋げる 時期:R5~



目的 民間主体による継続的な
立田山でのイベント開催

内容 自然環境保全啓発イベント・健康増進イベント等

場所 お祭り広場、多目的広場

分担 利用の手引き策定(行政)
イベント企画・運営・実施(民間)